

ニッポン ドクター和の 臨終図巻



計報に接してから、ずっとこの人の歌を聴いています。アリスの『帰らざる日々』『遠くで汽笛を聞きながら』『冬の稲妻』『チャンピオン』、そして個人名義の『陽はまた昇る』『群青』『22歳』。あの曲もこの曲も、辛く苦しかった青春時代に寄り添ってくれていたなあ…聴いているうちに、まるで昔の恋人の愛のようにやが気が付いたような心地になり、ふと夜空を見上げればオリオン座流星群からの流れ星が。あの人は本当に『昇—すばる—』となってしまいました。

歌手の谷村新司さんが10月8日、東京都内の病院で死去されました。享年74。死因の詳細は伝えられていませんが、公式サイトではこう発表されています。

〈今年の3月に腸炎での手術を行い療養を続けておりました谷村新司ですが、10月8日に息を引き

328 歌手 谷村新司

腸炎で命取りになることがあるの？



長尾和宏（ながお・かずひろ）医学博士。公益財団法人日本尊厳死協会副理事長としてリビング・ウィルの啓発を行う。映画『痛い町医者』をはじめ出版や配信などさまざまなメディアで長年の町医者経験を活かした医療情報を発信する傍ら、ときどき音楽ライブも。

取り永眠いたしました。本人も回復に向けて頑張っておりましたので本当に残念に思います。葬儀は近親者のみにて10月15日に執り行い、とても穏やかな顔で旅立ちました事を報告申し上げます。

腸炎をこじらせて死に至ることがあるのですか？ 実は大腸がんだったのではないですか？ そんな

な質問をいくつか受けました。腸炎とは、小腸、大腸、十二指腸などに炎症が起る病気の総称です。その原因は極めて多岐にわたります。

谷村さんは急性腸炎によって手術をしたと報道されています。急性の場合、ウイルスや寄生虫などによる感染性腸炎と非感染性腸炎の2つに大きく分けられます。どちらも症状としては腹痛、吐き気、嘔吐、下痢などで、出血や潰瘍、穿孔(せんこう)を伴うこともありま

す。感染性の場合手術をすることがめったにありません。谷村さんの場合は、非感染性でその前に何らかの基礎疾患があり、腸に悪影響を及ぼしたのではと推測します。

この世に生物が誕生したとき、最初にできた内臓は腸で、その後とも言われている通りとても高度な器官です。各臓器と神経系ネットワークでつながっていて、全身の免疫系をつかさどる存在だということも解明されつつあります。

だから腸の疾患が命取りになることは、いくらでもあるのです。また谷村さんは、「シスA/B型」という大変珍しい血液型のため、治療が難しかったという報道も一部あります。

谷村さんは、音楽で日中友好の懸け橋となった第一人者でした。1981年にアリスは北京で初コンサート。また2004年から5年間にわたり、谷村さんは上海音楽学院で常任教授を務められました。

中国メディアの澎湃新聞は、『「昇」は、アジアの人々の共通の記憶』と書いて、その死を悼みました。音楽に国境などないと、谷村さんの歌は教えてくれます。